



令和3年2月1日（月）発行

おおたかの森中だより

流山市おおたかの森西2-13-1 ☎04(7159)7002 生徒数644名



節目を大切に「立春大吉」

校長 大島 小百合

明日は節分、3日（水）は立春、暦の上ではいよいよ春の訪れです。しかしまだまだ寒い日が続いており、校舎の中庭「森のにわ」も冬の様子のままです。引き続き感染症予防に努めながら、3年生の進路実現と1、2年生の進級に向けて、生活・学習のまとめとなる2月にしていきます



節分とは本来、季節を分ける立春・立夏・立秋・立冬の前の日を指すので、年に4回あります。しかし、旧暦では立春が1年の始めとされていて、もっとも大切な日なので、立春の前の日の節分がクローズアップされ今に至るようです。節分では豆をまき、その後、歳の数（又は歳の数+1）だけ豆を食べて、今年1年の無病息災を願います。節分に豆をまく理由は、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると信じられていて、それを追い払う物として古来から神聖な穀物とされている豆をまくようになったそうです。

そして翌日の立春。早朝に家の玄関に「立春大吉」と書いた紙を貼って、厄除けをする風習があります。「立春大吉」は文字が左右対称で縁起が良いと言われています。この日から春になり、梅が咲き始め、だんだんと暖かくなってきます。

日本はこのように昔から、季節の変わり目や1年の始まりというような節目をととても大事にしていると思います。節目をきっかけにして気持ちをリセットしたり、新しいことにチャレンジしたり、一度足を止めて今までの歩みを振り返ったりすることができます。月や季節の変わり目、年や年度の変わり目、誕生日や記念日、そのような節目をじょうずに利用して、目標を立てたり自分を元気づけたりできるのではないのでしょうか。

立春を過ぎてだんだんと暖かくなり、梅・桃・桜が咲く頃には、生徒の皆さんは進学進級して新しい生活になります。それに向けてこの節分・立春の節目にどんな目標や願い事を掲げますか。3年生の皆さんはまずは進路実現だと思います。「立春大吉」健闘を祈ります！

3年生中学校生活最後の定期テストを終える

1月28・29日(木・金)、3年生学年末テストを行いました。1年生1学期の中間テストから始まった中学校での定期テストもこれが最後でした。中学校で学習した内容がどれくらい理解されているかを計ることがテストの目的ですが、教科担当の教員は、2月24・25日(水・木)に実施される千葉県公立高校入試に出題されるであろう問題を予測してテストを作成していました。

すでに進学先が決定している生徒、この後、公立高校、私立高校の入試が続く生徒、立場はそれぞれですが、お互いを思いやりながら、残り少ない中学校生活を充実したものにしてほしいと思います。



新入生保護者説明会を実施しました

1月22・27日(金・木)に新入生保護者説明会を行いました。新型コロナウイルス感染症終息の見通しがなかなか見えない状況の中での開催となったため、密を避け、2日に分けて実施しました。

現時点で今年4月に本校に入学してくる新入生の人数は、約270名の予定です。3月に卒業する3年生が約170名ですから、全校生徒の数はプラス100名程になる予定です。

緊急事態宣言の解除がいつになるのかなど不安もありますが、本校では新入生を温かく迎え、楽しく、安全で充実した毎日を過ごせるように準備をしていきたいと思います。



3年生 2月22日(月)は自宅学習日

先にお知らせしたとおり、2月24・25日(水・木)に千葉県公立高校入試が行われます。新型コロナウイルス感染症の心配が頭から離れないところですが、より安全に当日を迎えるため、3年生の3月22日(月)の扱いを「自宅学習日」とします。よって2月20日(土)から2月23日(火)は4連休になります。尚、入試事務などで登校が必要な生徒については担任より声をかけます。また、ご不明な点がありましたら、学校までご連絡ください。